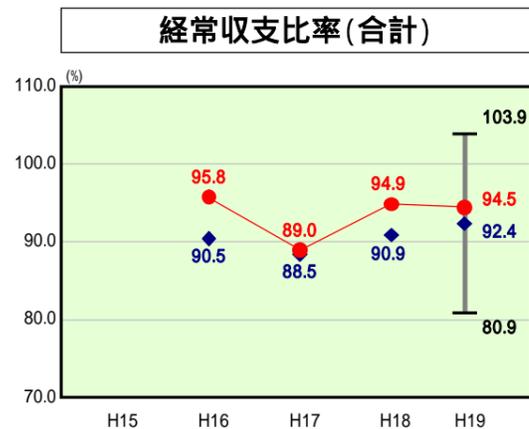


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鹿児島県 薩摩川内市

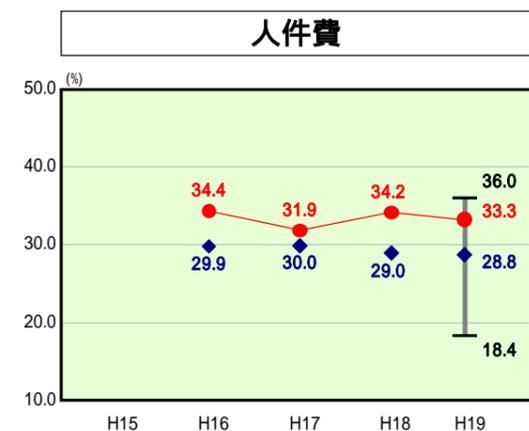
経常収支比率の分析



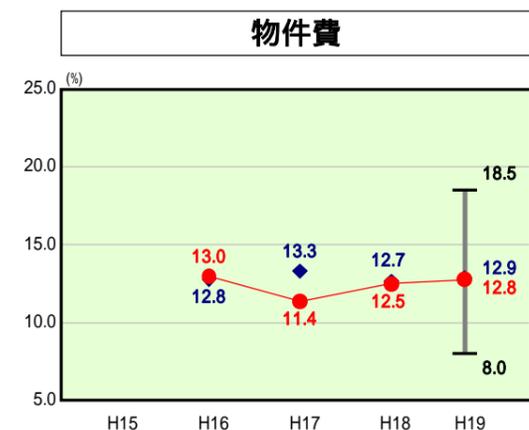
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ▸
類似団体内最小値 ▾

人口	101,703 人(H20.3.31現在)
面積	683.50 km ²
歳入総額	48,669,857 千円
歳出総額	46,747,264 千円
実質収支	1,309,430 千円

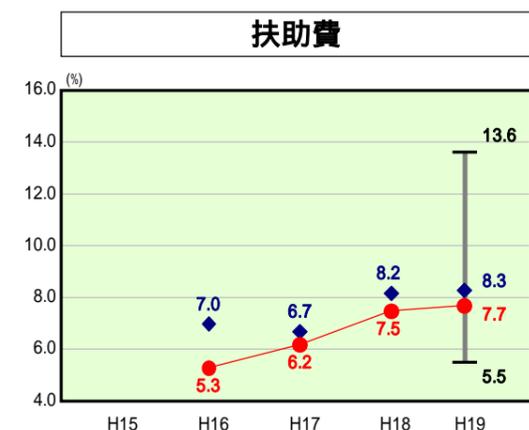
H19類似団体内順位 25/39
全国市町村平均 92.0
鹿児島県市町村平均 94.1



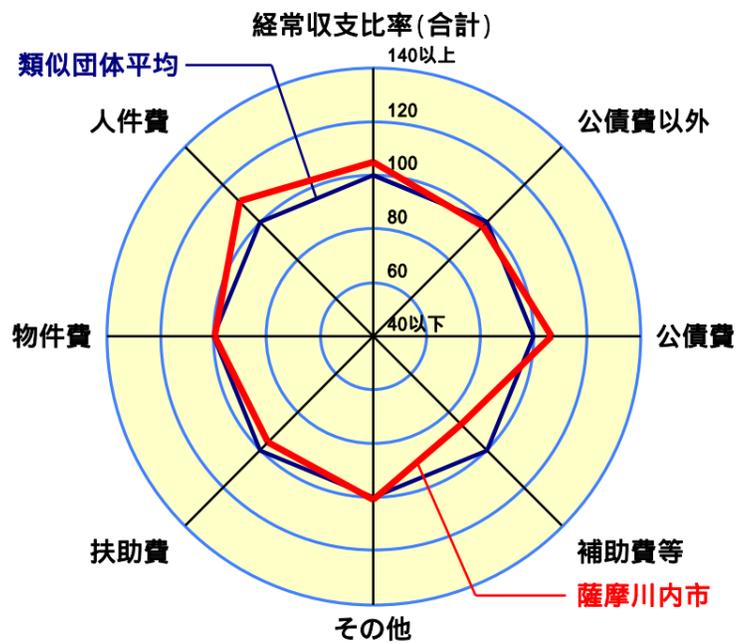
H19類似団体内順位 33/39
全国市町村平均 28.0
鹿児島県市町村平均 29.5



H19類似団体内順位 20/39
全国市町村平均 13.1
鹿児島県市町村平均 11.7



H19類似団体内順位 14/39
全国市町村平均 8.8
鹿児島県市町村平均 9.1



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】前年度と比較し0.9ポイント減少した。また、ラスパイス指数は類似団体平均となっているものの、人口1,000人当たり職員数が類似団体と比較して3.55人多く、経常収支比率の人件費分も高くなっている。「集中改革プラン」における定員管理の数値目標に基づき、新規採用抑制や指定管理者制度の活用により、定員管理の適正化に努める。

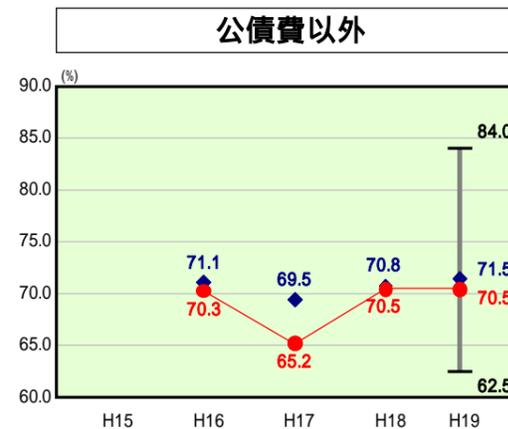
【物件費】前年度と比較して0.2ポイント上昇しており、ほぼ類似団体平均となつてはいるが、決算額では約1億3千万円の増となっており、引き続き「集中改革プラン」における経費削減等の具体的方策に基づき、事務事業の外部委託による経費削減等に努める。

【扶助費】毎年度上昇している中で、乳幼児医療費の3歳未満無料化等の独自の施策を講じ、決算額では前年度比3億7千万円の増となつてはいるものの、全体としては類似団体平均を0.6ポイント下回っている。

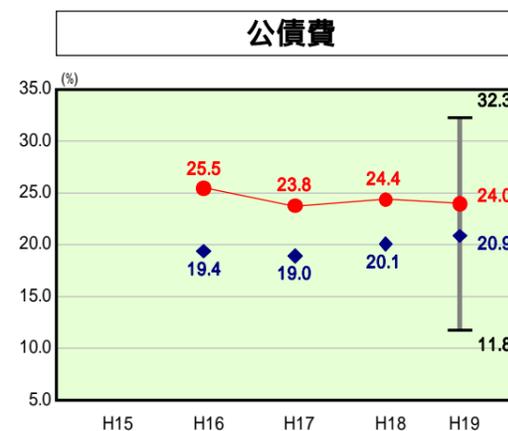
【公債費】これまで投資的経費の財源を主として地方債に依存してきたことにより、類似団体平均を3.1ポイント上回っている。汚泥再生処理センター等の大型事業が予定されているが、公債費負担の軽減の観点から、地方債発行総額の計画的抑制に努める。

【補助費等】各種負担金の見直し等を行ってきたことから、類似団体平均を5.1ポイント下回っている。

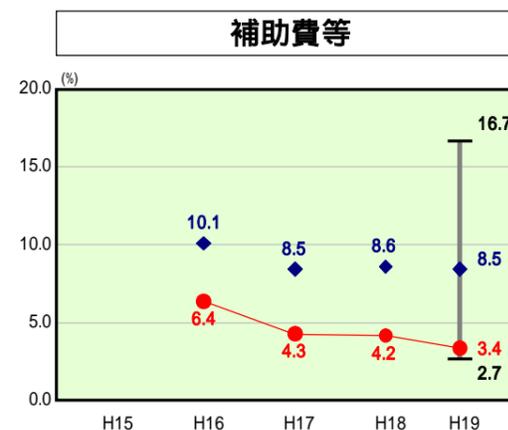
【その他】主には特別会計への繰入金であり、ほぼ類似団体平均と同程度である。現在事業実施中の特別会計もあり、企業債の償還開始に伴う経費増も予測されるが、独立採算の原則に則った経営健全化を図ることにより普通会計負担を抑制していく。【普通建設事業費】類似団体の減少率に比べても大きく減少しているが、内容を見てみると、広く多様な市域を抱える本市にとっては、本土地域における区画整理事業、離島地域における林道整備事業など不可欠な事業であり、今後も抑制基調であるものの重点化していく必要がある。



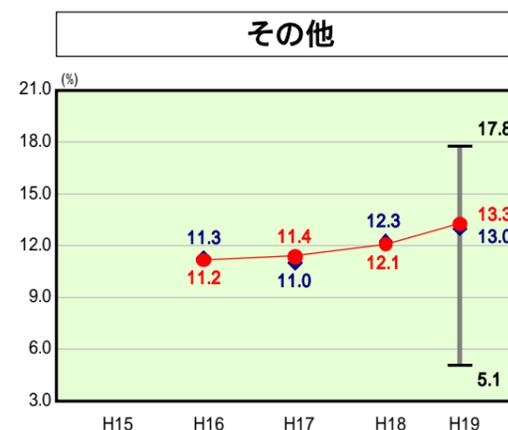
H19類似団体内順位 17/39
全国市町村平均 71.7
鹿児島県市町村平均 69.4



H19類似団体内順位 30/39
全国市町村平均 20.3
鹿児島県市町村平均 24.7



H19類似団体内順位 3/39
全国市町村平均 10.4
鹿児島県市町村平均 7.7



H19類似団体内順位 21/39
全国市町村平均 11.4
鹿児島県市町村平均 11.4